

びっふ議会だより

No.123

令和7年5月

P4 一般質問 スバリ！ここが聞きたい

大熊 勝幸 議員/遠藤 ハル子 議員
八巻 良博 議員/佐藤 良彦 議員
谷口 雅浩 議員/植西 浩一 議員

P10 新年度予算審議

P16 議会改革特別委員会 中間報告

P18 こども議会「比布町の未来づくり」

【表紙】「大雪山」

白寿大学 写真クラブ 米澤 忠義さん（寿町）撮影



3月4日～7日

第1回定例会

令和7年第1回定例会では、町の課題等に対し6議員が一般質問をしました。(4～9ページに掲載)
議案28件は審議の結果、すべて原案のとおり可決しました。

決定

◆損害賠償額の決定

除雪車両の事故による損害賠償額が決定されました。(全額保険対応)
【原案可決】

認定

◆町道の認定

町道の道道への昇格に伴い、町道との振り替えが前提となるため、道道北3線連絡道路を町道に認定するものです。
【原案可決】

条例

◆刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

現行の「懲役」及び「禁錮」が廃止され、新たに「拘禁刑」に一本化されることから罰則規定を改正するものです。
【原案可決】

◆比布町個人情報番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例

一部を改正する条例

◆比布町税条例の一部を改正する条例(2件関連)

情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う条例改正です。
【原案可決】

◆職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

◆職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例(2件関連)

上位法の改正に伴い、男女ともに仕事と育児・介護を両立できるようにするための措置を講じるにあたり、関係条例を改正するものです。
【原案可決】

◆比布町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

◆比布町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例(2件関連)

上位法の改正に伴い、保育内容支援及び代替保育に係る連携施設の役割分担及び責任の明確化等の要件を改正するもの及び栄養士法の改正により管理栄養士に係る配置要件を改正するものです。
【原案可決】

◆比布町簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例

生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律等の施行に伴う条例改正です。
【原案可決】

◆議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

近年の人事院勧告による職員給与、主に初任給の増加額や物価高騰等の社会経済情勢を考慮し、議員報酬額を月額30,000円増額改定するものです。
【原案可決】

令和6年度各会計補正予算（第1回定例会）	
一般会計（第9号） 1,065万5千円の減（総額48億8,650万9千円） ■文化財管理事業の減ほか年度末精査による増減	
国民健康保険特別会計（第3号） ■国民健康保険税の減額に伴い、基金繰入金を同額増	
介護保険特別会計（第3号） 2,654万3千円の増（総額6億6,250万円） ■介護サービス給付費の増ほか	
観光事業特別会計（第2号） 463万4千円の減（総額1億7,654万2千円） ■スキー場運営事業の減ほか	
簡易水道事業会計（第4号） 1,173万円の減（総額3億2,991万7千円） ■工事請負費の減ほか	
公共下水道事業会計（第3号） 168万2千円の減（総額9,839万7千円） ■工事請負費の減ほか	
令和6年度各会計補正予算（第2回臨時会）	
一般会計（第10号） 1,359万3千円の増（総額49億10万2千円） ■まちづくり応援寄附金の増ほか	
介護保険特別会計（第4号） ■一般会計繰入金の増額に伴い、基金繰入金を同額減	

◆比布町体育館等条例の一部を改正する条例

町民テニスコートのリニューアルにあたり、使用料を改正するものです。

なお、Dコートは未改修のため、現行の使用料と同額とします。【原案可決】

使用料（1時間あたり）

【現行】町民…400円

町外…800円

【改正後】町民…500円

町外…1,000円

◆特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

年額報酬が定められている各行

政委員会委員等の報酬について、社会経済情勢を考慮し、一部を除き現行の年額報酬に一律20%増額する報酬額改定を行うものです。

【原案可決】

◆職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

令和6年8月の人事院勧告に準

拠した職員給与等の改定及び職員の定年延長に伴う級別職務分類表の改正を行うものです。【原案可決】

◆会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

会計年度任用職員に対する勤勉

発議

◆比布町議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例

上位法の改正に伴い、引用する条項の繰り下げ改正を行うものです。

また、現行の「懲役」及び「禁錮」が廃止され、新たに「拘禁刑」に一本化されることから罰則規定を改正するものです。【原案可決】

◆議会広報特別委員会の設置

議会における広報活動の調査・研究及び議会広報紙の編集・発行を行うために設置するもので、議員提案のとおり可決されました。

◆公共下水道事業会計（第3号）

補正額と総額、主な内容は左の表のとおりです。

【原案可決】

補正予算

◆一般会計（第9号）

◆国民健康保険特別会計（第3号）

◆介護保険特別会計（第3号）

◆観光事業特別会計（第2号）

◆簡易水道事業会計（第4号）

◆公共下水道事業会計（第3号）

補正額と総額、主な内容は左の表のとおりです。

【原案可決】

第2回臨時会

3月27日

◆比布中央学校体育館・武道場空調設備設置工事請負契約の締結

【原案可決】

◆一般会計補正予算（第10号）

◆介護保険特別会計補正予算（第4号）

【原案可決】



子どもたちの成長を第一に 考える部活動の地域移行を

北川教育長

子どもたちの気持ちを最優先に 部活動の在り方を検討する



おお ぐま かつ ゆき
大熊 勝幸 議員

□質問・大熊議員

部活動の地域移行は教員の働き方改革に加え、子どもたちの選択肢を増やし、専門的な指導を受けられることが目的とされています。

私自身、行きすぎた教員の働き方改革全般については懐疑的ですが、部活動指導の負担軽減は必要な面があると思います。

そこで、4点についてお聞きします。

①比布町における部活動のメリットと課題。

②部活動の地域移行について、子どもにとっての現実的なメリット、デメリット。

③今後、比布町は地域移行を進めていくのか。進める場合は、その理由。

④地域移行する場合の課題と解決方法。

■答弁・北川教育長

令和4年度、スポーツ庁及び文化庁が「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を策定し、各都道府県に対し休日の部活動の地域連携や移行についての方向性を示しました。これを受けて、北海道教育委員会は、公立中学校等を対象として、休日の部活動から段階的に地域移行することを基本とし、「北海道部活動の地域移行に関する推進計画」を策定しました。

この推進計画に基づき、部活動の在り方を見直し、学校と地域の連携、地域で子どもたちが活動できる環境整備等により体験格差の解消や、学校における働き方改革を推進し、学校教育の質の向上を図ることなどを目指して地域移行に取り組んでいくことになりました。

①について、メリットは様々な人との関わり、モラルや協調性などを学びコミュニケーションを図る能力が身につくことや、努力して得られた成功体験が大きな自信となり、失敗体験の悔しさを糧に成長しようとする向上心や精神力を養うことが期待できます。課題は、生徒数の減少によるチームの成立の難しさ、部活動数の制限や教員の負担増などがあげられます。

②について、メリットはチャレンジしたい活動の選択肢が増えること、専門的な指導が受けられることや学校活動以外での交流が生まれることなど可能性が広がります。

デメリットは、保護者の負担が増えること、指導者の確保が難しいこと、指導者の技術的レベルや子どもたちとの接し方の複雑さなどが考えられます。

③について、子どもたちが将来にわたって継続的にスポーツに親しむ機会を確保していくために、当面は現在の部活動体制を維持し

つつ、休日のみならず平日の地域移行も視野に、指導者が確保できる部活動から順次移行を進めます。

令和6年度は剣道部と野球部、卓球部に部活動指導員を配置し、専門的な指導や課外活動の引率、顧問との連携などにあたっており、バレーボールはクラブチームを創設し、地域おこし協力隊員に指導いただいたしております。現在、各少年団の関係者や近隣町の教育委員会と今後の部活動の在り方や連携などについて検討・協議を行っています。

④について、北海道教育委員会が令和6年度に調査した「部活動地域移行に係る市町村の取組状況」による課題は、指導者の確保、実施主体・受け皿団体の確保や体制整備、運営財源の確保、子どもたちの移動手段や近隣町との連携体制などがあげられていました。

これらの課題を解決するには、地域と学校が連携・協働し、受け皿となる団体の発掘や調整、子どもたちや保護者、教員との対話、費用負担の在り方の検討など、様々なプロセスを踏んで取り組むことが重要です。

部活動の在り方を地域全体の課題として取り組むとともに、学校が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、新たな価値の創出を目指して部活動の改革に努めます。



一般質問 スバリ！ここが聞きたい

ぴっぷクリニックの医療体制と 地域医療の今後の展望は

村中町長

指定管理者と連携を図り より良い診療体制となるよう努める

□質問・遠藤議員

令和7年4月1日から、ぴっぷクリニックの指定管理者が、社会医療法人「元生会」に変わりますが、期待と心配の声があります。

3点について町長に伺います。

①診療科目、診療曜日、医師数は。
②介護予防にも力を入れている「元生会」は、新しい地域医療の構想をどのように考えているのか。

③「元生会」は『健康寿命を延ばすには病気になる、させない』との話をしています。今までの病院は患者さんを診るのが医師の仕事でしたが、病気の人を治す病院から、病気にさせない病院とは、どのようなことを指すのか。

新しい指定管理者「元生会」との話し合いの進捗と介護予防事業について町長の考えを伺います。

■答弁・村中町長

新たな診療体制の整備を行うため、移行期間が必要であり、4月中旬頃までは診療を休止することでも想定しています。

①診療科目は、内科及び外科を予定しており、診療日は、条例で定められているとおり行う予定です。医師の配置は、基本1名体制で、曜日ごとで担当する医師が変わる予定ですが、実際に新たな診療体制がスタートしてから患者様のご意見などもお聞きし、診療科目や

診療時間の変更も視野に、指定管理者とは十分連携を図り、町民の皆様にとつてより良い診療体制となるよう努めます。

②と③について、社会医療法人元生会は、救急医療など高度な医療を提供するとともに、令和2年には予防医学による健康づくりをテーマとした生活文化拠点施設「旭川ウエルネスセンター」を開設するなど、「健康・医療・福祉」が三位一体となった総合的医療構想を掲げています。

今後においても、高齢化が進む本町の数十年後を見据え、地域に根付いた診療所運営を行うことが地域医療の貢献につながると考えています。「健康」の考え方にも変化が生じていることから、病気になるから治療するのではなく、病気になるのを未然に防ぐことで健康に健やかに長く生活することが可能になり、本町のまちづくり計画にも掲げる「安心して暮らすことができるまちづくり」とも共通する考え方です。

□遠藤議員 「送迎があるのか、ないのか不安だ」との声があります。話し合いはされていますか。

■村中町長 送迎については元生会さんに要請をしています。また対象になる方については、ぴびたの利用が可能です。

□遠藤議員 森山病院には健康器具やカフェなどが設置されていますが、ぴっぷクリニックにはどの程度常設されますか。

■村中町長 元生会さんの理想はウエルネスセンターの小型版で、町民の方が訪れて健康づくりをしたり、カフェなどを通して住民の方々と交流できる場になればと思っています。

地

域防災体制、施策の

抜本的強化に向けた考えは

□遠藤議員 令和7年度の国の防災予算が倍増されます。「防災庁」の設置を2026年度中にと予定されていることから、今までになかった施策計画が立てられています。

関係機関に備品要望を聞き取り、地域の防災力を強化するなどの施策はすでにされていますか。

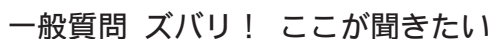
3点について町長に伺います。

①備蓄品の購入、防災にも使えるトイレカーなどの購入。

②災害女性学の視点を取り入れた災害対応の考え。

③担当課だけではなく庁内での防災会議の開催状況。

(答弁は紙面の都合で省略します)



村中町長

やまき よしひろ
八巻 良博 議員

多くの町民のみなさまより温かいご支援を賜り、町政を担わせて

また、青果物等振興対策事業においても、ハウスの更新などへ支

□八巻議員 50才以下の農業者人口が36人、その他が207人。若い方々に土地を集めることは重要ですが、60才の方が80才まで農業に携わったとして、20年間経営していくことを考えると、中高年農業者、小規模の経営者に対する政策が大切だと思いますが、町長の考えをお聞かせください。

■村中町長 国の政策に左右されるのが現実ですし、一自治体ではできないことがあります、限界があります。農業者も個々の努力も必要だと思いますが、町として単独事業や国の政策に則り、それぞれの営農をさらに発展していければと思います。





一般質問 スバリ！ここが聞きたい

町内会などと連携した 防災対策の推進を

村中町長

地域の防災力向上を目的とした コミュニティの強化が必要と考える

さとう よし ひこ
佐藤 良彦 議員

□質問・佐藤議員

大規模災害を想定した場合の避難救助体制について、行政としてスキームはできていると思います。が、実際に各施設単位や企業単位、町内会単位などと、どのような協定をされていますか。

また、地域の高齢者においても、どのように呼びかけや誘導を実施し、予想される注意点を理解し、共有されていますか。

防災対策は全町民が緊張した場面で生かされなければならなく、行政は町内会単位の状況を取りまとめて、漏れのないフォローを行う必要があると考えますが、町長の考えを伺います。

■答弁・村中町長

現在は町内外の民間企業や自治体など27の連携協定を締結しています。協定の内容は、災害時における燃料や物資、福祉用具の供給及び輸送や人員派遣、情報発信など、災害発生時には、連携協定締結先と情報共有しながら災害対策を進めていきます。今後もご支援をいただける企業や団体などと、積極的に協定の締結を検討します。

なお、本町では町内会単位の協定は締結していませんが、町内の各企業や施設との連携も大切ですので、各施設における防災計画を把握す

るなど、情報共有に努めます。

災害発生時は、高齢者が安全に避難し、災害後の生活を維持するために自分自身や家族で備える「自助」、地域で助け合う「共助」、行政が行う「公助」のバランスが重要です。また、町民のみなさまの日頃からのつながりである「近助」の精神も大切であると考えます。

小さな町だからこそ、きめ細やかな対応が可能であると思いますので、誰一人取り残すことのない災害対応ができるよう努力します。

びっぽうスキー場のインバウンド対策について

□佐藤議員 比布町のスキー場事業において、インバウンドの来場数と収益は年々増えている状況です。

また、各自治体のインバウンド対策における課題も分かっています。おり、「公共交通機関」「インフラ環境」「言語対応」「PR戦略」、これらを整備することは最重要課題です。将来的展望を含めて、方向性と対策を答弁願います。

■村中町長 冬季間の旅行者の割合が高く、スノーリゾートを中心に外国人の来場者数が増加傾向となっており、びっぽうスキー場においても、全体の来場人数の割合は少ないものの、今シーズンは既に2,800人を超えるインバウンドの

来場があります。

外国人観光客については、シーズン前から増加の想定をしており、スキー場内の案内看板やリフト乗車に関する注意事項の英語表記、全てのリフト券売り場においてキャッシュレス決済を可能とするなどの準備と対応を行ってきました。更には、大雪カムイミントラDMOと連携し、旭川市内の宿泊施設におけるリフト券の委託販売や外国エージェントとの商談会への参加、インバウンド向けのリフト券販売ウェブサイトの登録を行うなど、インバウンドを誘客する取り組みも併せて進めています。

しかし、外国語の対応ができるスタッフを確保できていないなど、現場では様々な課題やトラブルもあります。

従来から町民をはじめ、近郊からのお客様や学生のスキー授業、自衛隊訓練など、シーズン中に何度も訪れることができる安価で、コースの充実した公営スキー場として認知される中、持続的なスキー場運営のためにも、並行して今後も増加するであろうインバウンドの取り込みも一定程度必要と考えます。

エリア内の関係団体や民泊事業者などのご理解とご協力をいただき、更なる受入環境の整備や情報発信に努めます。



地域と共存する再生可能エネルギー事業について

村中町長

町民のみなさまからのご意見を伺い 必要な取り組みについて研究する



たに ぐち まさ ひろ
谷口 雅 浩 議員

□質問・谷口議員

近年では、各地で再生可能エネルギー施設が増える一方、自然破壊や美しい景観が失われるという問題が起きています。私は、この事業を全否定するものではありません。豊かな自然環境は、住民のいのちや暮らしを支える基盤であり、この恵みを将来にわたり引き継いでいくことが重要です。道は事業者に対しガイドラインのポイントとして「法令・条例での必要な措置や手続きについて自治体や国に確認、相談の上、遵守すること」「計画の初期段階から地域住民と適切なコミュニケーションを図り、事業実施に努めること」などを挙げています。

これらのことを踏まえ、町として再生可能エネルギー事業について条例を検討、制定する考えがあるか伺います。

■答弁・村中町長

本町に適した脱炭素推進を図るために、長期的に連携していただける脱炭素推進パートナー事業者を募集しているところです。事業者の選定にあたっては、専門的な知見を基に、条例やガイドライン制定も含めた総合的な支援が可能な事業者を想定しています。

□谷口議員 比布町として、どういった形で進んでいくのか示していただければと思います。

■村中町長 町として町民の皆さまのご意見もお伺いしなければいけません。この風景を守りたいけれども、地球温暖化は防がなければいけない。それぞれのご意見をお伺いしながら、着地点を見つけなければと思います。

カ ムイミインタラDMOとの今後

の連携による取組みについて
□谷口議員 令和7年度の町政執行方針によりますと、「良佳村エリアは中心的な施設であり、びっぶスキー場については札幌圏や北見圏からの誘客や大雪カムイミインタラDMOとの連携によるインバウンドの取組みを積極的に行ってまいります」とありますが、カムイミインタラDMOとして観光客誘致を今後どのように取り組んでいくのか伺います。

■村中町長 DMOを通じてス

キー場や遊湯びっぶを中心にアンケート調査の協力や圏域スタンプラリーへの参加、旭川市内の宿泊施設からの送迎支援やリフト券委託販売などの取り組みを進め、現在も一定の成果があるところでありますが、特にインバウンドに係る事業については、DMOや近隣市町と広域的に連携して様々な事業を進めていくことで、観光客数の増加や新たな商品開発につながる

ものと考えており、組織を構成する一員として、今後も積極的に関わってまいります。

□谷口議員 「比布町はとても受け入れが良かったよ」という口コミが大事だと思います。

■村中町長 英語表記の看板やホームページなど、来ていただいた方が満足していただけるように少しずつ対応を強化したいと思っています。

□谷口議員 外国人にとっては、珍しく、魅力的なものもあります。まだ発掘ができていない部分について、外国人にアンケート調査をしてみてはいかがでしょうか。

また、今後の受け入れ体制について、空港からバスやJRを利用して、あるいは空港まで迎えに行くのか、二次交通の使いやすさも検討する必要があると思います。

■村中町長 日本人の日常を求めて観光に来られる方が増えていることもアンケートでわかっています。

二次交通についてはDMOでも課題になっており、旭川空港はJRが繋がっていません。

旭川市内のホテルにも協力をいただいております。道北バスを使っている外国人が増えている状況です。



一般質問 スバリ！ここが聞きたい

地域課題解決型のスタート アップ企業を誘致できないか

村中町長

町内外の企業の協力を依頼していくか を含め対応策を検討する

□質問・植西議員

まちづくりの困りごとを解決するためには、地域内の様々な組み合わせでの解決にこだわるのではなく、どこからでも技術を持ち込んでもらうことが大切です。現在行われている調査も含めて、どのような解決策を考えているのか伺います。

■答弁・村中町長

外部から、様々な事業に精通した企業や個人に集まっていただくことは、地域や事業者の課題を解決するための一つの手段であり、そのような機会を持つことで、本町の新たな魅力も発見できる可能性もあると考えます。

また、今年度、包括連携協定を締結した旭川市立大学さんに良佳村観光施設の町内への経済波及効果について調査を依頼しています。調査結果の中で示された課題等について、町内外の企業の協力を依頼していくかを含めて、対応策を検討します。

□植西議員 ブレインストーミング会議形式で意見をたくさん出してもらえば、アイデアが出てくると思いますが、考えを伺います。

■村中町長 同じメンバーで新たな発想はなかなか生まれなと思いますので、様々な方の意見を伺う場面は大切だと思います。話題づく

りではなく結果に繋がる会議が求められますが、結果にこだわらず、職員が違う角度から物を見ることができる機会も必要だと思います。

また、調査結果の聴講の際に大学生と交流できればと考えています。

□植西議員 調査の対象となった観光施設の現状を踏まえて、様々な企業と新たな発想を生み出すことは考えていますか。

■村中町長 若い元気のある企業の方と繋がる場所に飛び込んで様々な意見を伺おうと思います。

若者の成育環境の機能強化を

□植西議員 将来に迷っている若者のために、浦幌スタイルのように、行政機能として何らかの形で教育環境、子育て環境、そして大人になっていく成育環境に責任を持って取り組むことはできないか伺います。

■村中町長 若い方々の成育環境機能の強化には、行政が環境整備をしつつ、学校教育以外のキャリア教育にどのように関与し、推進していくかが重要であると認識しています。

浦幌町では義務教育を終えた若者たちと地域の繋がりを支援するとともに、社会人になったあともUターン者の受け皿となる事業の

創出や、将来町内で起業や創業などを実現できる環境づくりを進めているようです。

本町では義務教育学校をスタートし、子どもたちが9年間で様々な経験や体験を通して一人一人の個性を伸ばし、自己実現できる資質や能力を形成することにより、義務教育修了後の社会で生きていくために必要な力を身につける場としても位置付けています。

義務教育学校による教育環境の効果をより高める環境整備については、これまで学校支援地域本部が中心となり、学校と地域の調整を図ってきましたが、今後は、比布町で培われてきた産業や文化、観光などの地域資源の掘り起こしによる体験機会の拡充なども検討します。

若い方々が将来設計を考えるうえで、生まれ育った地域で生活することが選択肢の一つとなるために、地域住民が自らの地域に誇りと愛着をもち、地域社会へ参画するシビックプライドの醸成にも努めます。

※ブレインストーミング会議形式

複数人で意見やアイデアを自由に出し合う会議手法

令和7年度各会計予算審議

令和7年度各会計予算は、議長を除く議員8人で構成する予算特別委員会（委員長：今井明信副議長）を設置し、3月5、6日に審議を行いました。委員会では各委員から事業に対する質疑や意見などが出され、活発な議論が展開されました。

定例会最終日の3月7日に今井委員長から委員会における審査結果の報告があり、原案のとおり可決しました。

■令和7年度会計別予算■

会 計 区 分	本年度予算額	前年度予算額	増減
一 般 会 計	44億3,700万円	46億3,600万円	▲4.3%
国民健康保険特別会計	5億2,012万円	5億2,922万円	▲1.7%
後期高齢者医療特別会計	8,203万円	8,285万円	▲1.0%
介護保険特別会計	6億2,500万円	5億9,600万円	4.9%
観光事業特別会計	2億4,015万円	1億7,378万円	38.2%
簡易水道事業会計	3億311万円	3億1,152万円	▲2.7%
公共下水道事業会計	1億938万円	9,921万円	10.3%
合 計	63億1,679万円	64億2,858万円	▲1.7%

町税

【八巻委員】個人の町民税が増加している要因は。また、税負担の増加により、一層不公平感が生じないように滞納整理をお願いしたい。

【税務住民課長】増加要因は農業所得の増と定額減税がないことによるものです。滞納はそれぞれの事情がありますが、法に基づき適正に対処します。

分担金及び負担金

【遠藤委員】放課後児童保育料について、物価高騰によりおやつなどは減っていないか。また、保育料の負担額について、所得状況によって減額するなどの検討が必要ではないか。

【教育課長】おやつについては減っていません。負担額については現状を検証し検討します。

使用料及び手数料

【八巻委員】グリーンパーク使用料が減額計上だが、ニーズに合わせた方向性を検討し、増収を図る必要があるのではないか。

【商工観光課長】収支のバランスが非常に悪いことは認識しており、一歩進んだ議論が必要と考えています。

【植西委員】公衆浴場は公益性が高い施設だが、使用料は据え置く考えか。

【税務住民課長】町民のセーフティネットの一つとして考えており、使用料の値上げは考えていません。

【植西委員】農産加工室の使用料が減少しているが、料理教室などを開催して増収を図ることはできないか。

【農林課長】本来の使用目的での利用者が減少し、様々な視点で考えなければなりません。管理の問題等もあるため研究が必要です。

諸収入

【谷口委員】給食費の無償化を開始する自治体が増えてきている。単なる昼食ではなく、食育という面からも無償化すべきと思うが。

【村中町長】各家庭からご負担をいただくながら、お米はJAからご支援いただき、物価高騰分と町内での食材調達差額分などを町が支援しています。ミネラルの高い給食を提供できるのも各ご家庭からのご負担があつてこそであり、無償化は検討していませんが、国の動向は注視しています。

総務費

【大熊委員】冬期間に自転車に乗っている町民がいるとの話を聞く。大変危険なので注意喚起をお願いしたい。

【税務住民課長】中央警察署とも協議し、必要に応じて周知します。

【八巻委員】1、100万円の時間外手当が計上されているが、定年延長の職員との業務分担で抑制できないか。

【総務企画課長】中途退職もあり実質の職員数は減となるため、想定額として計上しています。一部の職員に過度な負担とならないように進めます。

【佐藤（良）委員】新年度の職員採用がないとのことだが、職員数は適正と考えているのか。

【総務企画課長】令和6年度の中途退職等もあり、見込みのズレが生じました。人件費の膨らみも考慮しながら定員計画の策定を進めたと思います。

【遠藤委員】国が推進する自治体システムの標準化は、自治体に相応な負担となるが、町村会から国へ改善の要望はしているのか。

【村中町長】ランニングコストなど

多額な負担が生じることから、町村会として総務省へ要望しています。地方6団体からの要望活動になると思います。

【植西委員】ふるさと納税の増額を推進することは大切と思う。また、増収を生かして返礼品開発などの産業創出を図るべきと思うが考えは。

【村中町長】町民の所得が増える要素にもなるため推進は必要です。返礼品開発の補助制度もあるので、ぜひ利用いただきたいと思います。

【谷口委員】リフォーム補助は予算額に達した場合打ち切りになるのか。

【総合政策室長】本予算は町外からの子育て世帯の移住者に際してのリフォーム補助で、予算オーバーとなった場合は、補正予算を提出する考えです。

民生費

【植西委員】緊急通報システムは何軒に設置しているか。また、高齢者の安心メモ帳について、記載内容の更新をお願いしたい。

【保健福祉課長】50〜60軒に設置しています。安心メモ帳は社会福祉協議会の事業ですが、令和7年度は地域包括支援センターが75歳以上の家庭を訪問するので、更新への

の声掛けを行います。

【消防署長】お一人暮らしの高齢者への防火訪問の際も更新の確認をしています。

【遠藤委員】社会福祉協議会の事務局が2名に減るとのことだが、今後十分な事業ができるのか。また、高齢者や地域のためには、びっぶの和の発展が今後重要だが考えは。

【保健福祉課長】社会福祉協議会は地域福祉の中心と考えています。6年度からは比布産商がびっぶの和を運営していますので、社会福祉協議会とも連携を図りながら必要な支援を行います。

【佐藤（良）委員】あそか苑の運営が改善されてきていると認識しているが、支援等の今後の見通しをどう考えているか。

【保健福祉課長】人材育成が進み収益は増加していますが、まだ黒字化には至っていませんので、継続した支援を行う考えです。

【植西委員】社会福祉法人運営補助事業の積算根拠は。

【保健福祉課長】令和6年度の決算見込に基づき、赤字額の9割を予算措置しています。

【遠藤委員】身体障害者手帳が交付

にならない方への補聴器購入助成が開始されるとのことだが、交付基準は。

【保健福祉課長】70デシベル未満の方が対象で、医師の証明書が必要になります。

【佐藤（良）委員】障がいのある方が本町に住めるグループホームなどの誘致を進めてほしいと思うが考えは。

【保健福祉課長】本町の規模で誘致は難しいと考えます。在宅や通所サービスを充実させ、入所については近隣市町との連携を基本に考えています。

【植西委員】びびたく事業の町外利用の現状と、事業見直しの時期などの考えは。

【保健福祉課長】想定より少ない利用ですが、町内調達ができています。現行制度で当面続けていく考えです。

【遠藤委員】4月から、びっぶクリニックの送迎がなくなる可能性が高いと思うが、びびたくの利用を可能にしても課題は多いと思われるが。

【保健福祉課長】びびたくの増便も含め、課題を明確化させ様々な検討をしていきます。

【谷口委員】 出産された母親や新生児に対して記念品を贈る新規事業の財源が不安定と考えるが。

【総務企画課長】 財源については一定程度の目途はありますが、今後においても有益な財源確保に努めます。

衛生費

【遠藤委員】 公衆浴場についてのアンケート結果の報告を受けていない。なくなったら困るという声を多く聞くので、開館時間も含め今後の常任委員会で議論したい。

【税務住民課長】 アンケート結果については報告します。開館時間は経費面も考慮し、一度検討します。

【大熊委員】 町民総合健康診査について、受診率向上の取り組み状況は。【健康推進室長】 例年50%程度の受診率ですが、これまでの取り組みに加え、出産後の健診を勧めるなど、若いうちからの受診率向上にも努めています。

【谷口委員】 ゴミの出し方について、今一度、周知徹底を図ってほしい。【税務住民課長】 処理場で小規模火災が起きることもあります。特定できた場合は直接指導することもあります。但し、広報活動も継続します。

【八巻委員】 公衆浴場事業について、将来的に遊湯びつぷを活用することはできないか。

【税務住民課長】 施設の老朽化もあるため、様々な方法を検討し、委員会でも協議させていただきたいと思います。

【村中町長】 大切な問題です。結論は出ていませんが、アンケート結果も踏まえて検討していきます。

農林業費

【八巻委員】 冬いちごについて、実証栽培から一般農家に普及拡大していくことができるのか。また、水田農業の混乱について、国にしっかりと伝えてほしい。

【農林課長】 令和6年度に栽培マニュアルを作成し、経費面からハウスの仕様についても検討していきます。

【村中町長】 既に町村会から農林水産省に要望書を提出し、今後、国会議員等にも要望していきます。

【佐藤（良）委員】 担い手育成事業が減額となっているが、十分に担い手対策を行ったうえでの減額か。【農林課長】 国の補助金の申請見込みがないこと等による減額です。担い手対策は課題がありますが、関係機関と連携して取り組みます。

【植西委員】 農業者の生産性・自立性を高めるために初期投資に係る町単独補助を柔軟に交付してはどうか。

【農林課長】 生産性向上の目的を持って、一定ルールのもとに交付してまいります。

【谷口委員】 有害鳥獣捕獲の担い手育成は、どのような計画か。

【農林課長】 令和7年度は1名の方の免許取得に対して予算を計上しています。

商工費

【植西委員】 比布駅管理事業について、予算額の変更がないが、人件費等の配慮は必要ないか。

【商工観光課長】 観光協会への委託により管理していますが、毎年事業者との協議を行い予算を計上しています。

【佐藤（良）委員】 良佳村事業について、民間事業者のキャッシュレス対応の支援が必要と思うが考えは。【商工観光課長】 民間事業者にはキャッシュレス対応をお願いしており、商工業振興補助金を活用いただきたいと考えています。

土木費

【佐藤（良）委員】 道路に小さく陥没している箇所が見受けられるが、修繕の基準は。

【建設課長】 陥没箇所については雪解け後の4月下旬頃から職員が巡回し、損傷が大きいところから修繕しています。

【谷口委員】 他県で道路の崩落事故があったが、本町は調査を行うのか。

【建設課長】 道路の調査は難しいと考えますが、下水道については力メラ調査を実施します。

消防費

【植西委員】 119番をした際の位置情報把握の状況とガソリンによる火災への設備的な備えは。

【消防署長】 携帯電話からの通報は美瑛署のシステムで検知します。ガソリン火災には専用の消火薬剤があり常備しています。

【八巻委員】 消防ポンプ車整備事業で大きな予算計上となったが、走行距離や傷み具合から見て購入を延期することはできないか。

【消防署長】 30年経過しているため修理部品の調達も難しく、代替のきかない緊急車両であることから、

今回購入したいと考えています。

教育費

【大熊委員】バスの運転手不足が報じられているが、スクールバスの運転手は今後も確保していけるのか。

【教育課長】現状、委託事業者において2名の確保を維持していただいています。

【遠藤委員】図書購入費の減額理由と物価高騰による図書の質確保についての考えは。

【教育課長】令和6年度は図書館システムを購入したため増額しましたが、図書購入費はこれまでと同額計上しています。物価高の影響はありますが、予算の範囲内で調整します。

【遠藤委員】給食費について、国も無償化を容認しており、移住・定住施策の一環ともなることから実施すべきと思うが。

【村中町長】所得に応じて無償化する規定はあります。同じ公費を使うのであれば教員の増員など、教育の充実に活用したいと考えます。

【八巻委員】本町は君の夢プロジェクトや後期課程の東京への修学旅行など、教育環境が充実している。

給食費無償化ではなく、教育の充実をPRすべきと思うが。

【北川教育長】町からの支援などもあり、他町村に負けない教育を行っている自負があります。今後も教育環境の充実に努めます。

【谷口委員】郷土資料館の改修を見送り、鈴木邸のあり方も含めた協議が行われるとのことだが、両方を維持していくのは難しいと思われるので、鈴木邸を残すべきと考えるが。

【教育課長】令和7年度に文化財保護委員を委嘱し、二つの文化財維持が可能なのかも含め、教育委員会、所管の常任委員会にも諮りながら方向性を決めたいと思います。

介護保険特別会計

【佐藤（良）委員】本町の介護保険料は他町村と比べてどの程度か。

【保健福祉課長】上川中央部では中間程度、全道的に見ても極端に高いという状況ではありません。

観光事業特別会計

【八巻委員】経費面のことから2月でナイターが終了することは理解しているが、本町のPRとして3月も継続できないか。

【商工観光課長】平時のナイター利用は50名以下であり、運営経費を考えると3月の継続は難しいです。

用は50名以下であり、運営経費を考えると3月の継続は難しいです。

【植西委員】スキー場と遊湯びつぷを物理的に繋げ、利便性向上と収益増を図る考えは。

【商工観光課長】現段階では考えていませんが、今後の方向性について観光振興協議会などからも意見を聴き、議会との協議もお願いしたいと思います。

総括質疑

【大熊委員】公共施設の維持管理は人手不足と維持経費の問題があるが、近隣の任用職員が副業したり、受け持つ施設を近隣町で分担することは可能か。

【村中町長】副業は認めていますので検討材料の一つになると思います。施設は維持して町民福祉の向上に努めたいと考えています。

【遠藤委員】国は社会保障費の総額抑制をうたっているが、医療受診や介護サービスの削減が懸念される。町長は行政執行方針で保険料の抑制についてふれているが考えは。

【村中町長】ピピカツ事業や介護予防事業などによって健康寿命を延ばしたという意図です。国を挙げて病気になるための努力が必要だと思います。

【佐藤（良）委員】以前質問したが、現在びつぷクリニクに勤めている職員は今後どうなるのか。また、法人からの説明会などは行われたのか。

【保健福祉課長】森山病院で募集を行い、面談も実施されたと聞いています。職員への説明については、年末頃に現法人からあったようですが、その後改めて説明会などがあつたとの報告は受けていません。

【植西委員】物価高騰や賃金上昇に伴い、入札基準等についても事業者の手間や事務経費削減の観点から改正すべきではないか。

【村中町長】上位法により定められています。改正された場合は町の条例、規則も改正し事務の簡素化を図りたいと思います。

【今井委員】4月からのびつぷクリニクの指定管理は5年契約か。また、元生会は町内にないサービスと町内事業者と競合するサービス両方を行っているが、これらの活用についての考え方は。

【村中町長】契約は5年で元生会とは健康づくりに関する協定も締結しています。町内事業者ファーストの考え方で町民の皆様が様々な選択肢を得られ、安心して過ごせる環境づくりを目指します。

委員会のactivities



AQ…委員からの質疑
…担当からの回答

総務常任委員会

2月17・18日開催

税務住民課

《報告事項》

■町税等の収納状況

■上川広域滞納整理機構の収納状況
滞納整理機構へ引き継いだ11件、
約200万円の内、約65万円が徴収
された。(令和7年1月末現在)

《協議事項》

■第1回議会定例会提出議案

◇比布町税条例の一部を改正する
条例案

◇令和6年度一般会計補正予算

◇令和7年度一般会計予算

総務企画課

《報告事項》

■令和7年度地方財政対策

■令和7年度各会計予算案

■比布町複合庁舎基本計画の進捗状況

(説明) まちづくり懇談会や庁舎
検討委員会において意見を伺い
進めてきた。

今後は、住民説明会や議員か
ら意見を伺う場を設け、基本計
画を公表する。

■その他

◇比布脱炭素推進パートナー事業
者選定

(説明) 町の資源を活用した再
生可能エネルギーの導入等の具
体的な取り組みと支援、それら
に係る国の交付金や補助金への
応募に至るまで、町と連携して
いくパートナー事業者を簡易公
募型プロポーザル方式により選
定する。
審査結果はHPで公表する予
定。

◇町史4巻(平成史)発行

《協議事項》

■第1回議会定例会提出議案

◇令和6年度補正予算

◇条例の改正案

◇令和7年度予算概要

保健福祉課

《協議事項》

■第1回議会定例会提出議案

◇比布町家庭的保育事業等の設備
及び運営に関する基準を定める条
例の一部を改正する条例案

◇比布町特定教育・保育施設及び
特定地域型保育事業の運営に関す
る基準を定める条例の一部を改正
する条例案

◇令和6年度一般会計補正予算

◇令和6年度国民健康保険特別会
計補正予算

◇令和6年度介護保険特別会計補正予算

Q介護サービス給付費が増額補
正となったが、その要因は。
Aコロナ禍による介護度の重度
化と、町内介護施設の受け入れ
体制の整備が進んだことが大き
な要因と考えています。

◇令和7年度各会計予算概要

《その他》

■配食サービスについて

Q利用料金を1食450円から
550円に増額を検討している
とのことだが、現在利用されて
いる12世帯の生活状況の把握は
行っているのか。

A正確には把握はしていません
が、今後も事業を継続していく
ため民間サービスの料金とも比
較したうえで、1週間に利用で
きる食数を増やすことも含めて、
現在見直しを検討しています。

■町立診療所次期指定管理関係

Q診療科目は何かあるのか。

A内科と外科を予定していま
す。

Q元生会と連携している調剤薬
局が来る予定はあるのか。

A予定はありません。比布調剤
薬局と元生会が連携して対応し
ていく予定です。

Qカルテは友崇会のものなの
か。

Aカルテは町立診療所として管
理しているため、元生会にしつ
かり引き継いでいきます。

Q今後、医師住宅の利用はある
のか。

A元生会では利用しません。住宅
は町有住宅で医師住宅以外の用途
でも利用可能ですので、今後の利
用について検討していきます。

教育課

《報告事項》

▽学校教育係

■令和7年度児童生徒数と学級編制数（予定）

■比布町費負担教員の任用

■学校評価の結果

■君の夢プロジェクト

■部活動の地域移行

▽文化振興係

■図書館事業

■令和7年二十歳のつどい

■自然体験事業「比布アドベンチャーズ」

▽スポーツ振興係

■町民スキー、スノーボード教室

■びっぷ130年記念第59回びっぷスキー場GS競技大会

■びっぷ130年記念第56回町民スキー大会

《協議事項》

■第1回議会定例会提出議案

◇比布町体育館等条例の一部を改正する条例案

◇令和6年度一般会計補正予算案

■比布町文化・スポーツ活動大会

■出場報償事業要綱の制定

■比布町文化・スポーツ活動指導者等補助金交付要綱の制定

■比布町図書館開館時間・休館日の変更の提案

（説明）試験運用として、日曜日・月曜日・祝日・毎月最終水曜日を休館日とし、土曜日のみ閉館時間を午後5時までとする。

■比布町郷土資料館及び旧鈴木邸について

■令和7年度予算概要

《その他》

■比布町福祉会館ピアノルーム協力金について

（説明）協力金について、今年度は無料としているが、来年度から少額の負担をお願いする。

総務常任委員会

3月27日開催

総務企画課他

《協議事項》

■第2回議会臨時会提出議案

◇比布中央学校体育館・武道場空調設備設置工事請負契約の締結他2件

産業建設常任委員会

2月20開催

農林課

《報告事項》

■令和7年産米「生産の目安」

■びっぷいちご振興事業（6期目）の経過

《協議事項》

■第1回議会定例会提出議案

◇令和6年度一般会計補正予算

◇令和7年度一般会計予算

《その他》

■水田政策の見直しの方向性

商工観光課

《報告事項》

■令和6年度各施設の利用状況

◇良佳プラザ遊湯びっぷ

◇びっぷスキー場

①リフト収入、輸送人員実績

②シーズン券販売実績

③ナイターイベント実施状況

■ふるさと納税寄付金の状況

【件数】 6,339件

【金額】 1億835万7千円

（令和7年2月9日現在）

《協議事項》

■第1回議会定例会提出議案

◇令和6年度各会計補正予算
◇令和7年度各会計予算

建設課

《報告事項》

■建設工事の発注及び進捗状況

《協議事項》

■第1回議会定例会提出議案

◇損害賠償額の決定

◇比布町簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例案

◇町道の認定

◇令和6年度各会計補正予算

◇令和7年度各会計予算

農業委員会

《報告事項》

■農地法及び基盤強化法による農用地集積状況

《協議事項》

■令和7年度一般会計予算

産業建設常任委員会

3月27日開催

商工観光課

《協議事項》

■第2回議会臨時会提出議案

◇令和6年度一般会計補正予算

議会改革特別委員会 中間報告

検討事項

- (1) ペーパーレス化
- (2) 傍聴環境の整備
- (3) 議員報酬の改定
- (4) 議会・議員活動



議会改革特別委員会
委員長 今井 明信

これまでの経過と

調査・研究事項

比布町議会改革特別委員会は議会の役割や活動を広く町民に認識していただくことや、議会活動と委員会活動の充実等を目的とした特別委員会で、その目的を達成すべく、今期も継続設置しました。

委員会は延べ13回開催され、今期はこれまで以上に議会と議員の資質向上のための協議を重ね、地方議会の抱える諸問題でもある「なり手不足」や「形骸化」などDXの推進と合わせ協議を行いました。

議会改革の具体的事項

(1) ペーパーレス化

近年、地方議会においてもDXを推進する動きが活発化しています。

また、国は2020年に「自治

体デジタル・トランスフォーメーション推進計画」を策定し、地方議会のDXを推進しています。

本町議会では「ペーパーレス化」に向けて、昨年、一昨年にタブレット端末のデモンストレーションを各メーカーより3回実施し、現在、選定に向けて協議を行っています。

今後は「ペーパーレス化」以外にもオンライン委員会や電子署名に関する法整備なども国において進められていることから、デジタル技術を最大限に活用することで町民にとってより身近で開かれる議会を目指します。

(2) 傍聴環境の整備

傍聴環境の改善を協議する中で、議会を身近に感じてもらい、議会への興味・関心を町民から得ることが先であるとの考えに至り、令和5年1月に町民との意見交換会「議会と話そう」を東園地区、市街

地区にて初開催しました。

この取組に対して町民からも継続開催を望む声をいただき、令和6年2月に蘭留地区、市街地区、10月、11月に南地区、市街地区にてそれぞれ開催し、参加者からまちづくりや議会運営等に対し、大変多くの意見をいただきました。内容は「ぴっぷ議会だより」臨時号(121号)で報告しています。

今後は地域での開催と合わせて町内の各種団体や職場等との意見交換も実施する考えです。

また、一般質問等の会議録をホームページに公開し、町民への情報提供に努めます。

(3) 議員報酬の改定

議員のなり手不足が懸念される中、適切な報酬水準を確保することは、地方自治の活性化に不可欠です。

これまで本町議会でも改選前より報酬と定数について協議を行っており、議員報酬については、現在の社会保障費負担額や大卒初任給、専業議員である場合の必要額など、様々な観点から適切な報酬額を考え、物価高騰等も考慮しながら協議を重ねてきました。

令和6年6月11日付けで北海道町村議会議長会より議会・議員の活動量の豊富化と議員報酬の適正化

に向けた取り組みを推進する旨の特別決議が示され、また、7月10日に開催された全国町村議会議長会都道府県会長会議では、市議会議員との均衡を踏まえ、町村議会の議員報酬を町村長報酬月額額の47%を目指すことが決議されました。

再度、この状況等を踏まえて本町議会の実情に見合った要望額を町に提示し、特別職報酬等審議会に諮問いただきましたが、物価高騰や人事院勧告による職員給与とのバランスを考慮した答申となりました。

(4) 議会・議員活動について

本町議会は、町民の声を聴き、声を届けられる議会、町民に身近に感じてもらえる議会を目指し、町民との意見交換会「議会と話そう」でいただいた意見・要望を各常任委員会で課題抽出し、検討・協議を進めたのち、一般質問等で応えていけるような仕組みづくりを進めます。また、新たな常任委員会の進め方や町民アンケート、議員討論会の開催なども検討しています。

今後の町の人口や行政区の在り方、産業などの変化を迎えることも予想されますが、すべては町に住む方のための議会を目標として議会・議員活動を行ってまいります。

びっぶ議会だより 議会のうごき

2月

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 4日 上川町村議会議長会定期総会（旭川市、議長） | 17日 こども議会（福祉会館、全議員） |
| 11日 今津ひろふみ新春の集い（美瑛町、議長） | 19日 大雪消防組合議会定例会（美瑛町、組合議員） |
| 17日 総務常任委員会 ～ 18日（役場、委員・議長） | 21日 上川中央部議会議長会監査（役場、議長） |
| 20日 産業建設常任委員会（役場、委員・議長） | 22日 くるみ保育園卒園式（町内、議長） |
| 27日 議会運営委員会（役場、委員・議長） | 26日 社会福祉協議会評議員会（町内、議長） |
| 大雪浄化組合議会定例会 | 27日 総務常任委員会（役場、議長、委員） |
| 愛別町外3町塵芥処理組合議会定例会 | 産業建設常任委員会（役場、議長、委員） |
| 上川中部福祉事務組合定例会 | 議会運営委員会（役場、議長、委員） |
| （愛別町、組合議員） | 第2回議会臨時会（役場、全議員） |

3月

- 1日 にしかわ将人と上川の未来を語る集い
（改善センター、議長）
- 宗谷本線活性化推進協議会講演会（名寄市、議長）
- 4日 第1回議会定例会 ～ 7日（役場、全議員）
- 5日 令和7年度予算特別委員会 ～ 6日
（役場、委員・議長）
- 6日 議会広報特別委員会（役場、委員）
- 7日 議会運営委員会（役場、委員・議長）
- 12日 中央学校卒業証書授与式（学校、各議員）

4月

- 1日 くるみ保育園入園式（町内、議長）
- 7日 比布中央学校入学式（学校、各議員）
- 9日 議会広報特別委員会（役場、委員）
- 16日 産業建設常任委員会（役場、議長、委員）
- 議会運営委員会（役場、議長、委員）
- 第3回議会臨時会（役場、全議員）
- 議会改革特別委員会（役場、議長、委員）
- 21日 議会広報特別委員会（役場、正副委員長）

お世話になります



事務局長 菊地 正人

4月1日付けの人事異動で議会事務局に着任しました。よろしくお願いいたします。

議会広報特別委員会

委員長	植西 浩一
副委員長	佐藤 良彦
委員	遠藤ハル子
	大熊 勝幸
	谷口 雅浩

編集後記



新年度予算が可決し、令和7年度事業がスタートしています。

比較的暖かい冬であったように感じますが、現在、農作業真っ只中で忙しく作業をしている農業者の皆さんのおかげで、ふるさと納税の返礼品でも人気の比布産米。今年は気候に左右されことなく、秋には豊かな出来秋を迎えられることから待ち遠しいです。

さて、世界情勢など様々な影響により、生活をしていく上で大変な物価高騰が続いています。

本年も1人当たり5千円分の商品券が配布されます。ご家庭の負担軽減や町内経済の循環に商品券をご活用ください。

また、くるみ保育園前の中央ふれあい広場が整備され、新たに遊具が設置されます。子供も大人も夢中になって楽しめる公園になればいいと思います。

（大熊 勝幸）
おおくま かつゆき

6年生が議会に提案

「比布町の未来づくり」

3月17日（月）福祉会館大講堂で「こども議会」が行われました。

比布中央学校6年生の総合学習として自分たちが考えた町の課題を町議会議員に発表していただきました。

6年生は5つの班に分かれて「ナナプラザを道の駅のようにして特産品を集めて販売、PRすることや「いちご」、メロンを使った手作りスイーツ体験」「美味しいのに規格外で廃棄される野菜等をフリーズドライにした災害用食品の開発」また見学旅行で札幌、小樽に行き、旅行者へのアンケート調査を行った際、比布の場所を知らない人が多いことを知り「SNSを使い比布の魅力をもっと発信する」など様々な提案をされました。子どもたちの柔軟な発想を私たちも見習わなければなりません。

（谷口 雅浩）



こども議会提案内容

1班 ナナプラザに特産品を集める

お土産を販売している場所が分散していることから、比布町自慢の特産品をナナプラザに集める提案があり、店内のイメージや販売方法等について説明がありました。



店内イメージの一部

2班 魅力的な手作りスイーツ体験

比布町の特産品を多くの方に知ってもらいたいという思いから、いちごやメロンを使った手作りスイーツ体験の提案があり「缶のショートケーキ」や「メロンのショートケーキ」の作り方について紹介がありました。



缶のショートケーキの作り方

3班 ふるさと納税 SNS・宣伝チーム

比布町の特産品をPRするための3つの提案がありました。

- ①いちごを期間限定の返礼品に取り入れる。
- ②比布町の観光スポットなどを背景にして、先

生や子どもたち、町民のみなさんに踊ってもらい、SNSで発信する。
③比布町の特産品をイメージした新キャラクターを作る。



新キャラクター案

4班 田んぼアート

観光客を増やすため、比布町の田んぼを活用した田んぼアートの提案があり、田んぼアートの作り方やいちごちゃんをモチーフにしたデザイン案の紹介がありました。



田んぼアートのデザイン案

5班 レトルト食品・災害用食品

比布町のお米と廃棄野菜を活用した災害用レトルト食品を開発して、ふるさと納税の返礼品にする提案があり、お湯を入れてつくるおにぎりや米粉パンとジャム、廃棄野菜で作るインスタントスープなどが紹介されました。



廃棄野菜で作るインスタントスープ